

# 株式会社山文電気

- ・所在地: 東大阪市新庄西2-13
- ・代表者: 東條 文男
- ・資本金: 1,000万円
- ・従業員数: 18名
- ・URL: <http://www.yamabun-ele.co.jp/>



▲東條 文男 代表取締役社長

## 企業概要

※2011年8月現在

株式会社山文電気は、プラスチックフィルム・シートの厚み計測装置の専門メーカーである。1971年、産業用電装の設計・製造業として創業し、現在は、食品容器用シート分野等、プラスチック・ゴム等の厚み計測装置の国内シェアはトップクラス。近年、電子・光学分野の高機能フィルム・シートの製造工程中における高品質な厚み計測の必要性が高まり、国の補助金(平成21年:ものづくり中小企業製品開発等支援補助金(試作開発等支援事業))を利用して薄膜用厚み計を開発するなど、顧客の様々なニーズに対応した製品を提供している。

1998年、ドイツ・デュッセルドルフで3年に1度開催される世界最大のプラスチックとゴムの専門見本市『K展』に初出展。以来、毎回出展を重ね、会社の知名度向上とともに、海外との直接取り引きも増加している。

これまでの売上全体に占める輸出売上の割合は数%程度だが、今年度は10%を超える見込み。今後、ますます海外との取引が増えることが予測される。

## Q.海外展開を目指すようになったきっかけは？

当社の事業分野では、ヨーロッパの技術が先進的であるため、ヨーロッパで開催される世界最大の『K展』を一度見てみようと思い、1995年に視察に行きました。そこで、次の1998年に出展しようと決意。当初、出展方法などが全くわからなかったため、ある商社のロンドン支店を通じ、日本の厚み計測事業としては初めて『K展』に出品し、高い評価を得たため、以来、毎回出展を続けています。

## Q.海外展開の現状について教えてください。

『K展』に出展を続けるうち、海外で徐々に認知され、アルゼンチン、チリ、ドイツ、台湾、東南アジア等の企業から直接当社のホームページを通じて、オフライン型の小型機械の注文が入るようになりました。当社の製品は主に、製造ライン内に設置するオンライン型と、検査、品質管理のオフライン型に分けられ、現在のところ、輸出はオフライン型がメインになります。

また、『K展』以外にも国際プラスチックフェア(IRF)や東京国際包装展(東京パック)など多数の国際展示会や学会にも出展を継続し、自社製品の評価を知るとともに、①潜在的ニーズの把握、②自社のPR、③顧客や競合企業などとの人脈形成、につながっています。

なお、当社では国内で数多くの特許を取得していますが、中国、アメリカ、台湾、ヨーロッパなど、まだ販売していない国についても、模倣品対策を兼ねて出願しています。

## Q.今後の事業展開を教えてください。

現状のオフライン型製品の輸出を基本に、今後はオンライン型製品の輸出も検討中です。また販売先として、タイ、インドネシアなどのアジア地域と、中東地域も視野に入れていきます。そのため、アジア地域で開催される国際展示会にも今後積極的に出展していく予定です。

今の課題は、海外からの引き合いに直接対応するため、契約などの実務面やメール、電話でのコミュニケーションなど、外国語対応が難しいこと。ジェトロの貿易相談等を利用し、また、社内勉強会などを開き、今後増加する海外との取引に向けて体制を整えているところです。同時に自社で保有している技術・ノウハウの精査を行い、知的財産の保護について環境を整えたのち、社内活性化に向けて海外からの留学生の受け入れなども考えています。

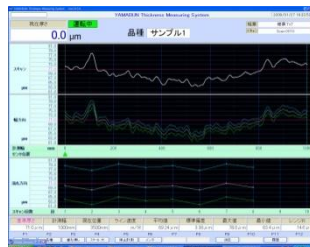
現在、円高の影響等もあり、日本製品はアジア地域など海外で生産される同種製品と比べると、価格競争では勝てません。そこで大切なのは、値段が割高でも顧客が欲しいと思う、多様なニーズに合った高品質、高性能な製品を開発・生産すること。今後も機能・品質とコストのバランスのとれた開発を行い、新規顧客獲得、販路開拓を目指します。

## Q.海外展開を目指す企業にアドバイスは？

海外展開は、“慎重かつ、大胆”に進めること。現在はインターネットのおかげで、日本にいながら海外の情報を入手することができます。情報を元に、失敗を恐れず積極的にチャレンジすることが必要です。また、一度海外展開を決めたからには、継続することが重要です。実際のところ、たとえば展示会に出展したからといってすぐに売上につながる、またはその場で商談がまとまる、というわけではありません。しかし、継続することが大切なのです。1度失敗したからといってあきらめてしまえば、それまでなのです。



▲レーザ式非接触オンライン厚み計測装置



▲計測画面



▲高性能フィルム技術展(2011年4月)